

豊中市立第十五中 学校だより 一期一会



ドラムをやってみたい人必見、庄内コラボセンター(シヨコソ)での、体験ホスターが校長室横の掲示板にあります。

ゲストから学んだ6月 視野を広げ、考えていこう



→6/25 高校の先生の話や先生方
どの学校にもみなさん待っている先生方が
います。素晴らしい出会いを大切に。

【6/13 国際理解学習】

「外の国から見た日本〜アフリカに住んで感じたこと、考えたこと」のタイトルで本校石井求依教諭による講演がありました。

2年間、JICA海外協力隊の一員として現地の学校で教えたことや、異国・異文化の地での毎日の生活のことなど、クイズを交えたお話は、興味深く、会場は楽しい雰囲気になりました。

「健康、教育、水、電気」の4つのキーワードで話は進みました。みなさんほどの話が印象に残ったでしょうか。

私は教育のところで、子どもたちが目を輝かせて学んでいる姿、歌を歌っている姿がとても印象に残りました。

「世界の暮らしや現実を知る機会になればうれしいです」との言葉で講演を締めくくられました。マラウイという国を知り、日本との違いに驚いたお話の数々でした。

【6/18 多文化理解学習】

「南京町とともに歩んだ100年」のタイトルで曹英生さんによる講演がありました。

150年ほど前の明治の初めころから、西洋の人々が多く住み、貿易を行い、発展してきた神戸の町。その歴史にも触れながらのお話でした。

祖父が開いた豚まんのお店を3代目として切り盛りするとともに、南京町の発展に尽くし、今も町を温かく見守る曹さんの姿がありました。

特に2年生にとっては、5月末に校外学習で訪れたにぎやかな町の光景と重ねてお話を聞き、認識が深まったのではないのでしょうか。

曹さんの言葉から、3つ紹介します。みなさんはお話から何を考えたでしょうか。

●多様性があつてこそ(町づくりで大切なことの1つ)。
●自粛を自粛する。恩返しではなく、恩送りという気持ちで自分たちから動いていく。
(阪神淡路大震災の時に、何かできることはないかと炊き出しなどを行った経験から)。

●困難は逃げるよりも乗り越えるほうが楽。

【6/25 高校の先生の話】

3年生を対象に、千里青雲高校 森口校長先生、園芸高校 竹田校長先生、福永教頭先生を招き、各校の特色、これからの進路選択についてのお話を聞きました。

【園芸高】

●フラワーファクトリ科、環境緑化科、バイオサイエンス科の3学科がある。

●2年次より専門科目授業が増え、3年次では半分为専門の授業となり、農学部などへの進学にも対応する。

●測量、農業などを競う大会があり、他校では得られない技術を身につけられる。

●医薬系、農業系、製造系など就職先も多様である。

【千里青雲高】

○2007年開校。幅広い選択科目から自分の興味・関心や進路の希望に応じて学ぶことができ、多様な進路に対応するのが総合学科である千里青雲高の特徴。

○選択科目は、教科書では学べない内容が多く用意され、自分の得意を伸ばせる。

○クラブは盛ん。*体育館が2つある府立高校は他にはない。

【6/27 1年喫煙防止教育】

学校薬剤師、芦田康宏先生を招いて、お話を聞きました。

アニメ「健康な未来を決めるのはあなた」を視聴した後、タバコの害について学びました。

アニメでは、先輩にタバコを勧められたケンジが、キツパリと断る場面がありました。講演後、芦田先生から次のようなアドバイスをいただきました。

断りにくい時、「その場から逃げる」「親などのせいにして無理だということ伝える」なども有効な方法とのこと。知識はもちろん、吸わない勇氣、断る勇氣も大事だと感じました。

【6/27 全校集会】

●表彰(クラブ活動等)

●西田先生から

●体育大会の団の色抽選

●各委員から

●2年生クラス代表から

●生徒会執行部から

●石井先生から

生徒会執行部のテキパキとした司会で、どの発表もテンポよく進み、体育大会抽選では、どの色になるか、縦割りほどのクラスと一緒にいるのでドキドキの瞬間もありました。

*体育科設置高校を除く。